

I 文化芸術事業の概要

1 札幌芸術賞・札幌文化奨励賞

札幌芸術賞・札幌文化奨励賞は、本市における美術、文学、音楽、演劇、舞踊等の芸術文化の進展に寄与した個人・団体に対する表彰制度であり、本市の芸術文化の振興に資することを目的に、昭和47年度（札幌文化奨励賞は昭和48年度）より実施している。

(1) 賞の概要

賞名（※）	札幌芸術賞（札幌市民芸術賞）	札幌文化奨励賞（札幌市民文化奨励賞）
創設年度	昭和47年度	昭和48年度
選考の対象者	本市に10年以上主たる活動の場を有する個人又は団体で、本市における芸術文化の進展に関し特に業績顕著なものとして、第三者から推薦されたもの。	本市に5年以上主たる活動の場を有する個人又は団体で、本市における芸術文化の進展に関し特に奨励するに値する芸術文化活動を行い、又は市民文化の向上に貢献しているものとして、第三者から推薦されたもの。
贈呈	賞状・賞金（30万円）	賞状・賞金（10万円）
過去受賞者数 （～令和4年度）	132 （個人125、団体7）	164 （個人147、団体17）

※平成13年度に賞名変更

(2) 過年度受賞者

ア 札幌芸術賞

年 度	受 賞 者		
第52回(令和5年度)	斎藤 歩	下沢 敏也	艾沢 詳子
第51回(令和4年度)	大平 由美子	札幌文学会	佐藤 武
第50回(令和3年度)	堅田 喜千城	上遠野 敏	札幌音楽家協議会
第49回(令和2年度)	谷本 聡子	渡辺 美明	(一社)北海道二期会
第48回(令和元年度)	大木 秀一	北村 清彦	文屋 治実
第47回(平成30年度)	阿部 博光	柿崎 熙	混声合唱団 響友会
第46回(平成29年度)	竹内 津代	則竹 正人	宏瀬 賢二
第45回(平成28年度)	杵屋 勝桂	國松 明日香	羽毛 蒼洲
第44回(平成27年度)	角 幸博	土田 英順	HBC少年少女合唱団
第43回(平成26年度)	小泉 のり子	中村 照子	西田 陽二
第42回(平成25年度)	阿部 和加子	荒巻 義雄	中村 隆夫
第41回(平成24年度)	竹津 宜男	森 一生	渡辺 信
第40回(平成23年度)	高岡 立子	竹岡 羊子	中村 昇
第39回(平成22年度)	川井 坦	千田 雅子	三部 安紀子
第38回(平成21年度)	大平 まゆみ	照井 武	堀内 掬夫
第37回(平成20年度)	川越 守	杉山 留美子	谷口 亜岐夫
第36回(平成19年度)	朝倉 賢	木嶋 良治	小原 道城
第35回(平成18年度)	岸本 裕躬	木村 雅信	菅村 敬次郎
第34回(平成17年度)	池上 恵三	我妻 緑巢	清水 武男
第33回(平成16年度)	鬼丸 吉弘	斎藤 大雄	長内 勲
第32回(平成15年度)	藤田 道子	矢崎 勝美	辻井 京雲
第31回(平成14年度)	鈴木 光彦	熊谷 玲子	圓山 彬雄
第30回(平成13年度)	尾崎 志郎	雨貝 尚子	佐々木 秋放
第29回(平成12年度)	阿部 典英	八木 伸子	
第28回(平成11年度)	木村 敏男	伏木田 光夫	西川 鯉蔵
第27回(平成10年度)	米谷 雄平	綿引 幸造	沖中 棟舟

年 度	受 賞 者		
第26回(平成9年度)	藤間 幹寿	小檜山 博	武内 昭二
第25回(平成8年度)	高垣 幸子	松本 暎子	原 義行
第24回(平成7年度)	渡會 純价	佐薙 のり子	
第23回(平成6年度)	鎌田 俳捺子	北海道交響楽団	中野 層翠
第22回(平成5年度)	谷口 一芳	小倉 和子	
第21回(平成4年度)	尖戸 悟郎	伊東 将夫	藤根 凱風
第20回(平成3年度)	原子 修		
第19回(平成2年度)	村岸 文輔	島田 無響	藤堂 志津子
第18回(平成元年度)	佐藤 庫之介	能藤 玲子	
第17回(昭和63年度)	新妻 博	渡辺 伊八郎	
第16回(昭和62年度)	砂田 友治	竹岡 和田男	
第15回(昭和61年度)	篠原 邦幸		
第14回(昭和60年度)	畠山 三代喜		
第13回(昭和59年度)	亀山 良雄	大本 靖	
第12回(昭和58年度)	上遠野 徹		
第11回(昭和57年度)	坂 坦道	柄内 忠男	
第10回(昭和56年度)	本田 明二	吉田 十四雄	(財)札幌交響楽団
第9回(昭和55年度)	沙原 聖子	横谷 瑛司	
第8回(昭和54年度)	繁野 三郎		
第7回(昭和53年度)	遠藤 道子	小川 東洲	高橋 揆一郎
第6回(昭和52年度)	國松 登		
第5回(昭和51年度)	松本 春子	小沢 輝佐子	
第4回(昭和50年度)	水口 幾代	小谷 博貞	
第3回(昭和49年度)	荒谷 正雄	中野 北溟	本山 節彌
第2回(昭和48年度)	佐薙 岡豊	千田 モト	澤田 誠一
第1回(昭和47年度)	栗谷川 健一	河邨 文一郎	

イ 札幌文化奨励賞

年 度	受 賞 者		
第51回(令和5年度)	鎌倉 亮太	国松 希根太	小町谷 圭
第50回(令和4年度)	會田 千夏	小杉 恵	北海道作曲家協会
第49回(令和3年度)	大黒 淳一	陣内 麻友美	山本 聖子
第48回(令和2年度)	尾崎 要	クスマ エリカ	札幌合唱団
第47回(令和元年度)	奥山 健恵	特定非営利活動法人コンカリーニョ	
第46回(平成30年度)	影山 裕子	前澤 良彰	Mizuho
第45回(平成29年度)	阿地 信美智	一鐵 久美子	加藤 正叙
第44回(平成28年度)	近江 宏	大阪 克彦	松井 亜樹
第43回(平成27年度)	石田 敏明		
第42回(平成26年度)	澁谷 俊彦	八木 幸三	山田 航
第41回(平成25年度)	浅井 智子	久保田 隆洲	佐々木 秀明
第40回(平成24年度)	川上 りえ	福居 良	若宮 明彦
第39回(平成23年度)	伊藤 隆介	大嶋 恵人	五條 明鈴
第38回(平成22年度)	谷口 明志	富田 とき子	
第37回(平成21年度)	駒ヶ嶺 ゆかり	下沢 敏也	
第36回(平成20年度)	札幌アカデミー合唱団	平向 功一	若狭 弘樹
第35回(平成19年度)	大杉 洋子	南 聡	
第34回(平成18年度)	トリオ・ダ・ソレ札幌	ソ・ソ・ソ・マリア弦楽四重奏団	早川 渉
第33回(平成17年度)	源 鬼彦	岡本 孝慈	佐藤 浩司
第32回(平成16年度)	端 聡		

年 度	受 賞 者				
第 31 回(平成 15 年度)	臼井 千百	萩原 のり子	札幌シンフォニエッタ		
第 30 回(平成 14 年度)	中村 隆夫	阿部 博光	富岡 雅美	赤川 智保	
第 29 回(平成 13 年度)	則竹 正人	梅本 実	椎名 智恵子		
第 28 回(平成 12 年度)	水田 香				
第 27 回(平成 11 年度)	市川 映子	吉川 順子			
第 26 回(平成 10 年度)	金田一 仁志	若柳 旭甫	大楽 勝美		
第 25 回(平成 9 年度)	中島 洋	谷本 聡子	安東 泰寿	今藤 長三四	
第 24 回(平成 8 年度)	斎藤 歩	谷口 亜岐夫	橋本 賀寿井	花柳 金栄	梅津 恒見
第 23 回(平成 7 年度)	小原 道城	蓼 胡雄輝	森 一生	二反田 岳水	桑山 真弓
第 22 回(平成 6 年度)	西川 隆久	太田 晃正	辻脇 系一	長内 勲	藤間 藤輝
第 21 回(平成 5 年度)	國松 明日香	新村 訓平	黒河 好子	須藤 恭央	中島 聖山
第 20 回(平成 4 年度)	太田 明彦	岸田 頌子	宇川 隆雄		
第 19 回(平成 3 年度)	佐藤 雅英	村田 高生	西川 鯉蔵		
第 18 回(平成 2 年度)	松田 由理子	吉武 知伊子	山田 緑光	近江 善正	
第 17 回(平成元年度)	戸坂 恵美子	原田 玉嶺	玉川 雄介	難波 鼓章	
第 16 回(昭和 63 年度)	館 圭子	三ヶ森 茂夫	ささきみつあき	原 賢司	加藤 秋霜
第 15 回(昭和 62 年度)	旭 吟城	劔持 小枝			
第 14 回(昭和 61 年度)	加藤 貴美篁	下沢 土泡			
第 13 回(昭和 60 年度)	長根 雅楽悠美	武内 昭二	窪田 薫	長野 京子	
第 12 回(昭和 59 年度)	松崎 染孝	福居 天童	川越 守	山岸 巨狼	
第 11 回(昭和 58 年度)	伊藤 鈴鳥	グループ「りら」	斉藤 信和		
第 10 回(昭和 57 年度)	佐々木 孝	佐々木 伸浩	雨貝 尚子		
第 9 回(昭和 56 年度)	宮崎 芳男	北海道詩吟連盟	松本 晃章	金森 登喜子	
第 8 回(昭和 55 年度)	中川 清風	札幌民謡連盟		穴戸 悟郎	
第 7 回(昭和 54 年度)	菱川 善夫	人形劇団「ひよっこ」		五條 珠淑	
第 6 回(昭和 53 年度)	方究会	杉山 安次	池上 恵三	高垣 幸子	村岸 文輔
第 5 回(昭和 52 年度)	森の仲間	安斎 奈々見	混声合唱団	響友会	浅井 淑子
第 4 回(昭和 51 年度)	俳句結社「はまなす」			相原 宗和	花柳 秀恵以
第 3 回(昭和 50 年度)	南 利一	山崎 紅水	芦野 トシ	高岡 立子	札幌川柳社
	木原 直彦				
第 2 回(昭和 49 年度)	内山 義雄	北出 清一	山田 喜代	佐薙 のり子	
第 1 回(昭和 48 年度)	今井 篁山	西 明美			

2 市民ロビーコンサート

昼休みのひとときを、市役所ロビーにおいて気軽に楽しめるコンサートとして、昭和 55 年 8 月より開催。出演は主として本市にかかわりのある中堅音楽家で、これまでクラシックを中心に 507 回、延べ出演者数は 1,135 人に達している（令和 6 年 3 月末現在）。

このコンサートは、優れた演奏に接することができる場を提供するものとして、多くの市民に親しまれており、音楽文化の振興に寄与するだけでなく、オフィス街での貴重なうるおいの場となっている。

(1) 事業概要

主 催：市民ロビーコンサート運営委員会

場 所：市庁舎 1 階ロビー

開催日：原則として月 1 回（第 4 金曜日）

時 間：12 時 25 分開演（約 20 分間）

(2) 令和5年度出演者・曲目 (令和5年度来場者数：909人)

回数	開催日	出演者	主な曲目
496	4月28日	佐藤 美空 (ピアノ) 大堀 祐香 (オーボエ)	愛の挨拶 (エドワード・エルガー作曲) ほか4曲
497	5月26日	【Young - 衆 (民謡)】 長江 亜津子 (唄) 井村 智恵 (唄) 二代目 佐々木 孝 (三味線) 伊藤 雅仁 (三味線) 佐藤 鷗雅 (尺八) 横山 鼓真房 (太鼓)	ヤン衆音頭ほか8曲
498	6月23日	金子 愛英 (フルート) 大塚 茜 (ピアノ)	愛の挨拶 (エドワード・エルガー作曲) ほか2曲
499	7月21日	【PMF2023 参加アーティスト】 ヨンミン・チョン (ヴァイオリン) アイルトン・ピスコ (ヴァイオリン) アンジェラ・ルビン (ヴィオラ)	三重奏曲 ハ長調 作品74 (ドヴォルザーク作曲)
500	8月25日	山田 正敏 (民謡) 近江 修一 (民謡) 佐々木 孝 (三味線) 原林 松枝 (三味線) 千葉 邦章 (尺八)	江差追分ほか3曲
501	9月22日	川村 拓也 (ヴァイオリン) 永沼 絵里香 (ピアノ)	シンコペーション (クライスラー作曲) ほか3曲
502	10月27日	遠藤 美和 (ホルン) 仲鉢 莉奈 (ピアノ)	Le Basque (マラン・マレ作曲) ほか3曲
503	11月17日	西岡 舞香 (ピアノ) 佐川 彩名 (フルート) 仲鉢 莉奈 (ピアノ伴奏)	《映像》第2集より第3曲 金色の魚 (クロード・ドビュッシー作曲) ほか2曲
504	12月22日	武川 奈穂子 (グランドハープ)	ハーブ協奏曲第1楽章 (ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル作曲、マルセル・グランジャニー編曲) ほか3曲
505	1月26日	三浦 豊晶枝 (箏) 日向 豊都 (三絃)	蒼生第1番 (松本雅夫作曲) ほか1曲
506	2月16日	【令和5年度札幌市民芸術祭新人音楽会大賞受賞者】 青木 菜保 (ヴァイオリン) 小野寺 陸 (声楽/バリトン) 加藤 愛理 (ピアノ) 【ピアノ伴奏】 大川 直美 東 晃希	アメリカの思い出「ヤンキー・ドゥードゥル」Op.17 (アンリ・ヴェータン作曲) ほか3曲
507	3月22日	山本 裕美子 (民謡) 仲野 魁斗 (津軽三味線、尺八) 横山 鼓真房 (太鼓) 山本 信義 (掛け声)	蝦夷富士の唄 (須藤隆城作詞作曲) ほか3曲

3 主な文化芸術事業・団体への補助

札幌市民芸術祭実行委員会や(公財)札幌交響楽団などに対し、補助金を交付している。

(単位：千円)

団 体 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
札幌市民芸術祭実行委員会（札幌市民芸術祭事業）	8,956	12,640	12,640
(公財)札幌交響楽団	160,000	160,000	160,000
札幌文化団体協議会（札幌文化団体協議会事業）	2,144	2,144	2,144
(公財)北海道演劇財団（北海道演劇財団演劇製作公演等事業）	3,430	3,430	3,430

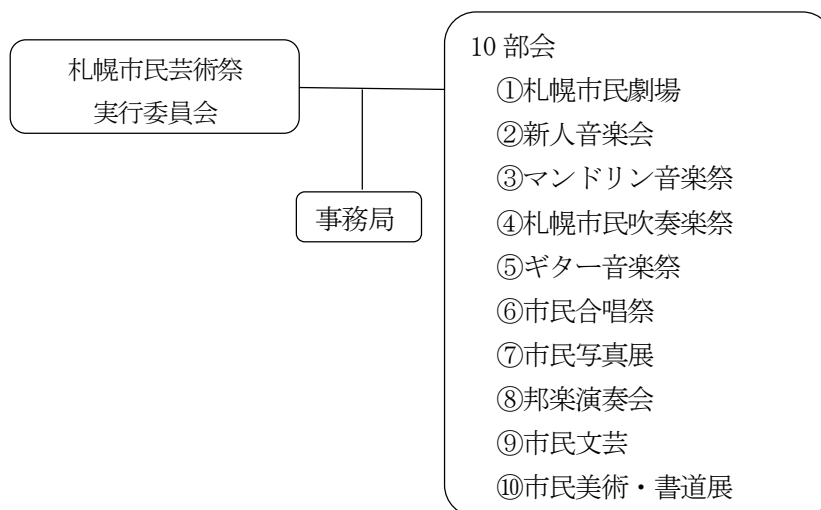
<主な交付団体の状況>

(1) 札幌市民芸術祭実行委員会

昭和22年から開催されていた「市民美術展」を発端とし、昭和33年の市民会館開館を機に「市民劇場」がスタートした。その後、昭和48年に多くの市民参加により札幌市民芸術祭実行委員会が発足した。札幌市民芸術祭は、美術、音楽、演劇、舞踊、文芸などの文化芸術各分野における市民の創造発表活動を促進することを目的としており、10の部会で構成された実行委員会により、幅広く事業を展開している。

ア 組織概要

10の部会で構成され、実行委員会委員15人、部会委員109人その他専任の事務局員により、年間を通して事業の推進に当たっている。



イ 顕彰制度

特に優秀な発表を行った団体及び個人に対し札幌市民芸術祭大賞を、大賞に準ずるもの又は将来性が高く期待される発表を行った団体及び個人に対し札幌市民芸術祭奨励賞を授与している。



新人音楽会



市民美術・書道展

(2) 札幌交響楽団

昭和 37 年設立。道内唯一のプロオーケストラとして、各種演奏会のほか、青少年に対する音楽普及活動や福祉施設での演奏など、様々な教育・社会活動を、本市のみならず全道で展開し、音楽文化の向上に寄与している。

ア 組織概要

事務局所在地 札幌市中央区中島公園 1 番 15 号 札幌コンサートホール内

電 話 011-520-1771

U R L <https://www.sso.or.jp/>

楽 団 員 数 75 名（令和 6 年 3 月末日現在）

演 奏 回 数 114 回（定期演奏会 20 回）

決 算 総 額 1,027,928 千円（令和 5 年度）

イ 活動内容（令和 5 年度）

			公演数	入場者数(人)	内 容
自主公演	定期公演	市内	20	24,733	定期演奏会
	特別公演	市内	13	16,439	名曲シリーズ、夏休みスペシャル、札幌の第 9 等
		道内	8	2,657	
		東京	1	1,638	
依頼公演	市 内		30	43,901	
	道 内		14	8,395	
	道 外		0	0	
音楽教室	市 内		14	17,943	
	道 内		14	9,352	
	道 外		0	0	
合 計			114	125,058	

4 写真文化振興事業

市民の貴重な財産である札幌の歴史や風俗等を記録した写真を活用し、市民が気軽に写真芸術に親しめる機会を創出するなど、写真文化の振興を目的として平成22年度より事業を開始し、写真展や写真教室を開催している。

(1) 北一条さっぽろ歴史写真館

北一条地下通路を歴史写真館として、(株)セイコーマート（現 (株)セコマ）の協力を得て施設整備を行い、平成23年9月22日にオープンした。NPO法人北海道を発信する写真家ネットワークが、年2回展示内容を企画している。

展示テーマ	開催期間
「札幌駅」	5. 10. 5-6. 3. 28
「再び生まれ変わるサッポロ」	6. 3. 29-6. 9. 30（予定）



(2) 写真展

公募参加型写真展「「変わる」の中で」実施（5. 11. 10-12）

(3) 飯沢耕太郎講演会

写真評論家飯沢耕太郎氏による講演（5. 11. 10）

5 パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌 (PMF)

次代を担う若手音楽家の育成を通して、音楽の普及・発展を目指す国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) は、20 世紀を代表する指揮者、作曲家そして教育者として知られるレナード・バーンスタイン (1918～1990) の提唱により、平成 2 年に創設された。

PMF は世界で活躍する音楽家を教授陣に迎え、世界各国・地域からオーディションで選ばれた若手音楽家を育成する「教育事業」、教授陣やアカデミー生、ゲストアーティストにより多彩なコンサートを行う「演奏会事業」、クラシック初心者向けの音楽講座や PMF オーケストラのリハーサルを見学することができるオープンリハーサルなど、音楽の幅広い普及をめざす「音楽普及事業」の 3 部門で構成されている。



<PMF2023 実施概要>

事業内容	開催期間	会場	入場者数等
1 教育事業 世界各国から選抜した若手音楽家 (アカデミー生) に対する最高水準の教育を実施	7/7～8/1	札幌コンサートホール Kitara ほか	アカデミー生 22 か国・地域 74 名
2 演奏会事業 教育事業参加の若手音楽家の演奏会、オーケストラ演奏会、教授陣・ゲストアーティスト等による各種演奏会を開催	7/12～8/1	札幌コンサートホール Kitara、札幌芸術の森・野外ステージ ほか	計 27 公演 入場者数：17,206 人
3 音楽普及事業 市民等に対し、音楽教育の公開やその他音楽の普及に関する事業を実施			
(1) リンクアップ・コンサート アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールによる小学生向けの音楽教育プログラムを元に、札幌の児童に合わせて制作したプログラム	7/19	札幌コンサートホール Kitara	参加児童数：662 人
(2) マスタークラス PMF 教授陣がアカデミーに指導する模様を公開、またコンサート鑑賞を組み合わせた地元音大生のためのプログラムを実施	7/16、7/23、 7/25、7/27	札幌コンサートホール Kitara	入場者数：331 人
(3) PMF クラシック LABO ♪ クラシック初心者にもわかりやすくクラシック音楽の魅力を伝える音楽講座	7/23	札幌コンサートホール Kitara	参加者数：267 人
(4) オープンリハーサル PMF オーケストラのリハーサルを一般公開	7/13、7/14、 7/23、7/27、 7/28	札幌コンサートホール Kitara	入場者数：448 人
(5) 学校 DE カルチャー PMF 修了生等の生演奏やトーク、児童の指揮体験などの音楽授業を実施	10/16 10/25 (2 校)	米里小、篠路小、藤の沢小	参加校：3 校
(6) 修了生によるミニコンサート 札幌市内や首都圏におけるレセプションなどでミニコンサートを実施	通年	札幌市内及び首都圏の各所	実施回数：22 回

6 さっぽろアートステージ

文化の日の属する11月を文化月間と位置付け、様々なアート系イベントを集中的に実施する事業として、平成17年度から開催。札幌発の文化芸術活動に触れる機会を創出して市民の文化芸術への関心を高めるとともに、発表の機会が少ない団体や個人に発表の場を提供し、文化活動の担い手を育成することを目的としている。

<令和5年度事業概要>

※入場者数にはオンライン上の視聴者数を含む

	事業内容	開催期間	会場	入場者数
舞台芸術部門	札幌劇場祭（30作品、94公演） 札幌劇場祭大賞：劇団5454 『宿りして』 ※ほか2団体が優秀賞を受賞	11/2-12/6	市内7劇場 演劇専用小劇場 BLOCH 扇谷記念スタジオシアターZOO 札幌市こども人形劇場こぐま座 札幌市こどもの劇場やまびこ座 ターミナルプラザことにPATOS 生活支援型文化施設コンカリーニョ Event SPACE EDiT	8,227人
	北海道中学生演劇発表大会	11/25-26	北海道青少年会館コンパス	750人
音楽部門	サッポロミュージックショーケース 公募で選定された10組のミュージシャンによる音楽ライブ	11/11-12	札幌駅前通地下歩行空間	1,128人
	さっぽろスクール音楽祭 市内小中学校、高校の合唱・器楽・吹奏楽クラブによる演奏	11/5	札幌コンサートホール Kitara	6,188人 ※参加校 合唱 16校 器楽・吹奏楽 26校
美術部門	アートストリート アーティストや学生、子どもたちによる様々なアート作品を展示	①11/11-26 ②11/11-23	①札幌駅前通地下歩行空間 ②札幌市民交流プラザ	489,522人
	スクールアートライブ 高校生による大型絵画のライブドローイング	11/11-12	札幌駅前通地下歩行空間	参加校 8校
	キッズアートフェス アーティストによる子ども向けワークショップ	11/11-12, 11/18-19	札幌市民交流プラザ	82人
	ユニバーシティスチューデント アートコンペティション 美術系大学の学生による作品 展示及びコンペ	11/12-23	札幌市民交流プラザ sitatte sapporo ステップガーデン	アートストリートに含む
	ボーダレスアート作品展 障がいの有無の境界を越えた表現者らによる作品の展示	11/12-23	札幌市民交流プラザ	アートストリートに含む
	出張 Think School 展 アートとまちづくりを学ぶ アートスクール生による作品展示	11/12-26	札幌駅前通地下歩行空間	アートストリートに含む

7 サッポロ・シティ・ジャズ

国内有数の大型ジャズフェスティバルとして平成19年度から開催。

札幌文化芸術劇場「hitaru」や札幌芸術の森野外ステージでの国内外のトップアーティストによるライブステージのほか、市内各所で開催した市民アーティスト参加型のライブなど、バラエティに富んだプログラムを実施

＜令和5年度事業概要＞ 開催期間：通年（フェスティバル期間：夏R5. 7. 15-10. 1、冬R5. 12. 22-26）

夏は「パークジャズライブ」を市内各所において開催し、冬には「シアタージャズライブ」をはじめとする各種ライブを市民交流プラザで実施

事業内容	開催期間等	会場	入場者数
札幌観光資源の創出			
シアタージャズライブ	5. 12. 22-26	札幌文化芸術劇場 hitaru	2, 573 人
企業・団体とのタイアップによる事業の普及			
Jazz&Classic LIVE（さっぽろライラックまつり）	5. 5. 17-26	大通公園 6 丁目	6, 059 人
サッポロ・サウンド・スクエア	5. 5. 11-6. 1. 13	札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場	4, 198 人
TAIYO GROUP×SAPPORO CITY JAZZ タイアップ公演	5. 8. 7	札幌文化芸術劇場 hitaru	1, 300 人
奏 de LIVE（さっぽろオータムフェスト）	5. 9. 8-30	大通公園 6 丁目	15, 252 人
創成 EAST JAZZ	5. 9. 30-10. 1	北海道ガス東側屋外スペース	1, 034 人
RUSUTSU 100 days Music Live Season12	5. 12. 15- 6. 3. 23	ルスツリゾート	15, 700 人
COCONO SUSUKINO JAZZSCENE with Sapporo City Jazz	6. 2. 23	COCONO SUSUKINO	529 人
Seiko Summer Jazz Camp All Stars in Sapporo	5. 8. 20	札幌芸術の森アートホール	216 人
サッポロファクトリー×サッポロ・シティ・ジャズ辻本美博 Christmas Special Live	5. 11. 3	札幌ファクトリーアトリウム	823 人
札幌市民交流プラザを活用した教育普及事業			
ユニバーサルジャズライブ	5. 12. 23	札幌市民交流プラザクリエイティブスタジオ	185 人
ジャズライブラリー	5. 11. 23-12. 26	札幌市民交流プラザ 札幌市図書・情報館	2, 396 人
シティジャズオフィシャルブース	5. 12. 22-26	札幌文化芸術劇場 hitaru ホワイエ	771 人
文化芸術を通じた市民活動の促進			
パークジャズライブ	5. 7. 15-16	大通公園 2 丁目ほか	32, 091 人
パークジャズライブコンテスト	5. 7. 17	札幌芸術の森アートホール	346 人
育成・支援事業			
札幌ジュニアジャズスクール	通年	札幌芸術の森アートホールほか	—
ジャズの種プロジェクト	通年	砂川市、幕別町、羊蹄山麓町村、広尾町の各会場	—
北海道グループキャンプ	6. 3. 26-30	札幌芸術の森アートホール	14 人
北海道グループキャンプ 2024 Final Live	6. 3. 30	札幌芸術の森アートホール	180 人
質の高い文化芸術の創造・提供			
ビックバンドプロジェクト定期演奏会	5. 10. 4	札幌コンサートホール	584 人

8 子どもの文化芸術体験事業

(1) こころの劇場（子どものミュージカル体験）

日ごろ接する機会の少ない本格ミュージカルのすばらしさを、感性豊かな子どものときに体験してもらうことを目的として、市内の小学6年生を劇団四季のミュージカルに無料招待する事業。

昭和54年度から、（財）ニッセイ文化振興財団との共催により「ニッセイ名作劇場」として開催し、平成20年度からは、（一財）舞台芸術センター、四季株式会社（劇団四季）との共催により「こころの劇場」として開催している。

<平成30-令和5年度事業実績>

	公演数	会 場	演 目	鑑賞者数
平成30年度	8	ニトリ文化ホール	「王様の耳はロバの耳」	202校、15,855人
令和元年度	8	札幌文化芸術劇場 hitaru	「カモメに飛ぶことを教えた猫」	203校、16,054人
令和2～4年度	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止（動画配信による代替実施）			
令和5年度	8	札幌文化芸術劇場 hitaru	「ジョン万次郎の夢」	198校、14,805人

(2) Kitaraファースト・コンサート

オーケストラ演奏を鑑賞する機会を創出し、豊かな情操教育の推進、次世代を担う子どもたちへの音楽文化の普及振興を図るため、札幌市内の全小学6年生及びさっぽろ連携中枢都市圏の小学6年生を対象とし、優れた音響を誇る札幌コンサートホールKitaraで、オーケストラ演奏を鑑賞・体験させる事業を例年実施している。

平成16年度より実施している本事業は学校授業の一環となっており、教職員の協力による事前学習のほか、当日の公演の中では楽器解説なども行っている。

<令和5年度事業概要>

開催時期 令和5年10月10日（火）～13日（金）、10月15日（水）～17日（金）7日間12公演実施

出 演 札幌交響楽団、キタラ専属オルガニスト

曲 目 ヨハン・セバスティアン・バッハ フーガ短調 BWV 578 「小フーガ」

ジョルジュ・ビゼー 歌劇「カルメン」組曲 第1番より 闘牛士

ベドジフ・スメタナ 連作交響詩「わが祖国」より ブルタバ（モルダウ） ほか

参加者数（児童及び引率者数の合計）

年 度	参加者数（学校数）
令和2年度	-
令和3年度	9,588人（131校）
令和4年度	17,160人（244校）
令和5年度	16,509人（240校）



(3) おとどけアート

アーティストと触れ合う機会を通じて、子どもたちが芸術的感性を育むことを目的に、平成20年度より実施している。小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させることで、ともに作品を制作するなどの「アート体験」を提供した。

<令和5年度事業概要>

学校名	アーティスト名	期 間	参加者数
札幌市光陽小学校	佐竹 真紀	5. 8. 21-6. 3. 8	児童 503 人、教職員 31 人、計 534 人
札幌市立中の島小学校	櫛引 康平	5. 11. 1-6. 1. 23	児童 560 人、教職員 35 人、計 595 人
札幌市立発寒小学校	東方 悠平	5. 10. 18-6. 2. 2	児童 439 人、教職員 34 人、計 473 人

(4) ハロー！ミュージアム

子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会の充実を図り、創造性を育むことを目的として、平成 20 年度から実施している。札幌市内の全小学 5 年生を対象とし、札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館へ招待し、本物の芸術に触れ、学ぶ機会を提供する事業。

各施設の特色を生かし、美術の鑑賞活動や造形活動プログラムを行った。

<令和5年度事業概要>

プログラム

芸術の森美術館コース：札幌芸術の森美術館での鑑賞活動

野外美術館コース：札幌芸術の森野外美術館での鑑賞活動

子どもアトリエコース：佐藤忠良記念子どもアトリエでの鑑賞・表現活動

彫美・鑑賞コース：本郷新記念札幌彫刻美術館での鑑賞活動

彫美・表現コース：本郷新記念札幌彫刻美術館での鑑賞・表現活動

期 間：令和5年5月17日（水）～令和6年3月1日（金）

参加学校数：市内小学校 199 校

（芸術の森美術館コース 86 校、野外美術館コース 87 校、子どもアトリエコース 10 校、彫美・鑑賞コース 13 校、彫美・表現コース 3 校）

参加児童数：13,949 人

(5) ニッセイ名作シリーズ鑑賞

オペラやバレエ、人形劇など優れた舞台芸術を鑑賞する機会を子どもたちに提供するため、札幌市内及びさっぽろ連携中枢都市圏の小学 4 年生を対象として実施する事業。令和5年度から、（財）ニッセイ文化振興財団との共催により開催している。

<令和5年度事業実績>

	公演数	会 場	演 目	鑑賞者数
令和5年度	6	札幌文化芸術劇場 hitaru	「精霊の守り人（もりびと）」	129 校、9,308 人

9 障がい者向け文化芸術体験事業

(1) 障がい児向け音楽ワークショップ

市内の特別支援学校及び小学校の特別支援学級に通う児童を対象に音楽ワークショップを開催。令和4年度は肢体不自由、知的障がい等のある小学4～5年生を対象とし、令和5年度からは聴覚障がいのある小学1～6年生を対象としたワークショップを追加した。

<令和5年度事業概要>

開催時期 令和5年9月6日（水）～7日（木） 2日間で3回実施

出 演 音楽ワークショップ・アーティスト おとみつく

曲 目 A.C. ジョビン 「イパネマの娘」

オッフェンバック オペレッタ『天国と地獄』より
グリーグ 『ペール・ギュント』より「朝」 ほか

＜令和4-5年度事業実績＞

	回数	会 場	参加校数	参加児童数
令和4年度	2	札幌コンサートホール Kitara 大ホール	10 校	41 人
令和5年度	3	札幌コンサートホール Kitara 大ホール	29 校	186 人

10 文化芸術鑑賞促進事業

クラシック音楽鑑賞者の裾野拡大及び鑑賞機会充実のため、質の高い音楽を低料金で鑑賞できるコンサートを開催

＜令和5年度事業概要＞

札幌交響楽団による低料金コンサートの実施

ア おんぷでさんぽ みんなのオーケストラ in Kitara

- ・日時 1月10日（水）①開演11:00 ②開演14:00
- ・会場 札幌コンサートホール Kitara 大ホール
- ・料金 全席指定 一般1,000円 中学生以下無料（要入場券）

イ hitaruで見る・聴く・知るオーケストラ！

- ・日時 2月13日（火）開演19:00
- ・会場 札幌文化芸術劇場 hitaru
- ・料金 全席指定 一般1,000円

コンサート名	日付	設定 席数	入場者数	割合
おんぷでさんぽ みんなのオーケストラ in Kitara	1/10 AM	1,982	1,133	57.2%
おんぷでさんぽ みんなのオーケストラ in Kitara	1/10 PM	1,982	929	46.9%
hitaruで見る・聴く・知るオーケストラ！	2/13	2,107	1,970	93.5%
合計	—	6,071	4,032	66.4%

11 札幌国際芸術祭

札幌国際芸術祭（Sapporo International Art Festival 略称：SIAF^{サイアフ}）は、3年に1度、札幌市内各所で開催される国際的なアートフェスティバル。平成26年度の初開催から、平成29年度には第2回となるSIAF2017を開催、令和2年度はSIAF2020を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて中止した。

令和5年度にはSIAF2024を開催し、冬の札幌の魅力を国内外に広く発信した。今回は令和8年度に開催を予定している。

(1) SIAF2024 の開催

SIAF2024は、降雪等の札幌の特徴がより強く発揮できる冬季開催とし、ディレクターにアルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表の小川秀明氏を迎えた。2024年を中心として100年前と100年後の過去・現在・未来を行き来するような体験を創出する「200年の旅」と、この先の風景を見つめ、新たな試みを実験するような刺激的な体験に出合うことができる「未来の冬の実験区」の2つのコンセプトを用意し、会場ごとに異なるプログラムを展開した。



チェ・ウラム 《Red》2023
Photo by FUJIKURA Tsubasa



エネス 《Airship Orchestra》
Photo by KOMAKI Yoshisato



《INTO SIGHT at 2024》Sony Design in collaboration with HIRAKAWA Norimichi
Photo by MOMMA Yusuke

ア 開催概要

項目	内容
名称	札幌国際芸術祭 2024（日本語） Sapporo International Art Festival 2024（英語） ウサ モシリ ウン アシカイ ウタラ サッポロ オッタ ウエカラバ Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa 2024（アイヌ語）
会期	2024年1月20日（土）～2月25日（日）【37日間】※一部例外あり
会場	未来劇場（東1丁目劇場施設）、さっぽろ雪まつり大通2丁目会場、札幌文化芸術交流センター SCARTS、北海道立近代美術館、モエレ沼公園、札幌芸術の森美術館、地下公園
テーマ	ラスト スノー LAST SNOW
サブテーマ	はじまりの雪（日本語） Where the Future Begins（英語） ウパシテ Upaste（アイヌ語）
ディレクター	小川秀明（アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ共同代表／アーティスト）
主催	札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市
来場者数	356,784人
参加アーティスト	84組（18の国と地域から参加）
主催・共催イベント	77件

イ 市民参加プログラム

(7) SIAF スクール

多くの市民や企業が SIAF に参加する機会を創出し、社会のためのアートとして市民浸透を図ることを目的に、会期前から発見・体験・学びの場となるような、子どもから大人まで幅広く参加できるプログラムを各種展開した。

項目	概要
つながる×ひろがる×学校	アーティストが開発したアプリケーションを活用し、プログラミングで「自分だけの雪の結晶」をつくる学校向けワークショップを実施したほか、同じアプリケーションを使って制作した作品をオンラインでも募集し、本祭期間中に未来劇場で作品として展示した。 ・学校向けワークショップ実施件数 12 校（計 853 名が参加）
ふむふむプロジェクト （ボランティア活動）	過去 2 年間の「SIAF ふむふむシリーズ」の実績とノウハウを生かし、ボランティアの募集から育成までを行い、最終的には未来劇場での鑑賞ガイドなどの活動の場を創出した。 ・ふむふむサポーター（会場案内、来場者のおもてなし等を担当） 最終登録者数 230 名 ・ふむふむガイド（ガイドプログラムを通して、来場者と作品のつなぎ役を担当） 最終登録者数 42 名

(4) 公募・連携プロジェクト

SIAF 会期中に「未来」をキーワードに開催されるイベントやフェアの公募を行い、多数の応募があったうち 13 件のコラボレーション企画を実施した。また、SIAF と同時期に開催される文化イベントのうち、SIAF2024 のテーマに賛同していただける 15 件のプロジェクトと連携し、相互の広報展開や札幌市の一体感等を創出した。

(2) 広報プロモーション

項目	概要
記者発表等の広報展開	令和 5 年 2 月と 10 月に記者発表を実施し、SIAF2024 の全体コンセプトを発表したほか、海外への情報発信も行った。 また、壁面広告や柱巻き広告の掲出及び街頭ビジョンでのプロモーション映像放映を行い、SIAF2024 を PR した。
特設ウェブサイト	SIAF についてよく知らない方にも手軽に情報を届けられるよう SIAF2024 の特設ウェブサイトを構築。常設のポータルサイトにはない仕組みを用いてより興味を持ってもらえるよう取り組んだ。
SNS での情報発信	Instagram や Facebook、YouTube など SNS を用いた情報発信を行い、幅広い層にアプローチした。

12 札幌演劇シーズン

札幌で生まれた優れた演劇作品を1か月超のロングランで連続公演する演劇事業。令和5年度までは夏季・冬季でそれぞれ実施していたが、令和6年度からは夏の1会期とし、より密度の濃い内容で実施している。本事業は平成23年度から開催しており、札幌市では平成24年度から支援を行っている。

<令和5年度事業概要>

札幌演劇シーズン 2023-夏：令和5年7月22日（土）～令和5年8月19日（土）

札幌演劇シーズン 2024-冬：令和6年1月27日（土）～令和6年2月17日（土）

	上演作品	上演期間	会 場	入場者数
札幌演劇シーズン 2023-夏 入場者数 計：5,448人	「黄昏ジャイグルデイバ」	R5. 7. 22-29	生活支援型文化施設 コンカリーニョ	780人
	「ハッピーママ、現る。」	R5. 7. 29-8. 5	演劇専用小劇場 BLOCH	668人
	「烈々風 玉葱畝る 夏至白夜 沁みる挽歌に 咽ぶ匂ひよ」	R5. 8. 5-12	扇谷記念スタジオ シアターZOO	514人
	「オズの魔法使い」 「新オズの魔法使い」	R5. 8. 12-19	かでのホール	3,486人
札幌演劇シーズン 2024-冬 入場者数 計：2,216人	「ピース・ピース」	R6. 1. 27-2. 3	生活支援型文化施設 コンカリーニョ	583人
	「Same Time, Next Year-来年の今日もまた-」	R6. 2. 3-10	ターミナルプラザ ことにパトス	737人
	「大きな子どもと小さな大人」	R6. 2. 10-17	扇谷記念スタジオ シアターZOO	663人
	「つぶあんとチーズ」 「被服室の変」 (特別プログラム：北海道高校演劇)	R6. 1. 10	かでのホール	233人

13 札幌市博物館活動センター事業～博物館整備推進事業

平成13年1月に策定した「札幌市博物館計画推進方針」に基づき、平成13年11月に博物館の整備に向けた準備施設「札幌市博物館活動センター」を開設。資料の収集・保存や調査・研究、普及・交流事業など、市民参加型の活動を中心とするソフト事業重視の活動をするとともに、（仮称）札幌自然史博物館の整備に向けた調査・検討を行っている。

なお、平成28年4月に札幌市博物館活動センターが入居していたリンケージプラザ（中央区北1条西9丁目）の閉鎖に伴い、豊平区の現在地に移転・再オープンした。

(1) 施設概要

所 在 地 豊平区平岸5条15丁目1-6
 電話番号 011-374-5002 FAX 011-374-5014
 開館時間 午前10時～午後5時
 休 館 日 日・月曜日、祝日、
 年末年始（12月29日～1月3日）
 入 場 料 無料
 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建ほか
 敷地面積 6,258㎡
 延床面積 2,023.78㎡



(2) 利用状況

年 度	来館者数	備考	年 度	来館者数	備考
平成 13 年度	1,388 人	11 月開設	平成 25 年度	5,927 人	
平成 14 年度	10,552 人		平成 26 年度	5,585 人	
平成 15 年度	12,297 人		平成 27 年度	4,599 人	1～3 月休館
平成 16 年度	11,504 人		平成 28 年度	7,151 人	現在地に移転
平成 17 年度	7,445 人		平成 29 年度	9,252 人	
平成 18 年度	4,928 人		平成 30 年度	10,619 人	
平成 19 年度	7,400 人		令和元年度	9,057 人	3 月休館
平成 20 年度	6,439 人		令和 2 年度	2,816 人	4/12～5/30 休館
平成 21 年度	5,230 人		令和 3 年度	3,077 人	5/2～7/13、8/27～9/30 休館
平成 22 年度	4,541 人		令和 4 年度	7,870 人	
平成 23 年度	7,729 人		令和 5 年度	7,406 人	
平成 24 年度	6,043 人		累計来館者数	158,855 人	

(3) 事業概要

ア 資料収集

札幌市内や石狩低地帯を中心とした道内の標本資料について継続的に学芸員が収集するほか、市民からの寄贈を受け入れている。（令和 6 年 3 月末現在）

資料区分	一次資料(点)	二次資料(点)
地 質	461	7,888
古 生 物	4,344	4,966
動 物	61,196	0
植 物	17,909	12,878
菌 類	1,254	217
考 古	45	0
小 計	85,209	25,949
合 計	111,158	

※一次資料は実物資料（直接資料）、二次資料は実物資料以外の「記録」されることにより生じた資料（間接資料）を指す（「博物館ハンドブック」による）。

イ 調査・研究

(7) 小金湯産クジラ化石

平成 20 年に札幌市南区で発見されたクジラ化石については、クリーニングが終了した実物標本及び過年度に製作した 3D データを活用し、形態的特徴についての研究を進めている。

(4) 札幌の希少植物調査

「札幌市版レッドリスト 2016」（環境局、平成 28 年 3 月策定）に掲載されている絶滅のおそれがある植物を中心に、生息調査や植生調査などを行っている。

(9) 札幌の風穴地の植物・植生調査

市内の特徴的な植生である風穴地の調査に取り組んでおり、令和 5 年度は、砥石山の風穴地の一部の植生調査を行った。

ウ 普及・交流事業

(7) 体験学習会

事業名	開催日	講師	参加者数
ぶらりネイチャー 初夏のお花ガイド	5. 6. 3	山崎 真実 (センター学芸員)	13 人
ぶらりネイチャー きのこウオッチング	5. 9. 9	NPO 法人藻岩山きのこ観察会	13 人
おさんぽミュージアム (創成川・鴨々川)	5. 9. 21	山崎・山田 共催：札幌市河川事業課	13 人
ワークショップ「植物のモビールを作ろう～北欧のヒンメリ～」(企画展関連事業)	5. 4. 1 5. 4. 8 5. 4. 15	センター展示解説員	29 人
花豆ワークショップ	5. 5. 13- 5. 10. 28 (18 回)	山崎 真実 (センター学芸員) センター展示解説員	152 人
ワークショップ「標本と絵本」	5. 5. 27 5. 6. 10 (4 回)	センター展示解説員	62 人
ワークショップ「タンポポの標本を作ろう」(企画展関連事業)	5. 6. 17 5. 6. 24 5. 7. 1 (6 回)	山崎 真実 (センター学芸員)	71 人
体験講座「押し葉標本を作ろう～キク科コスモス～」(企画展関連事業)	5. 7. 29	山崎 真実 (センター学芸員)	12 人
ワークショップ「札幌軟石と火山灰の観察」(企画展関連事業)	5. 12. 2- 5. 12. 23 (8 回)	センター展示解説員	190 人
ワークショップ「ストーン・ペインティング」(企画展関連事業)	6. 1. 9- 6. 1. 20	センター展示解説員	351 人
ワークショップ「札幌の岩石プレート作り」	6. 2. 17	センター展示解説員	17 人
ミュージアムトーク「札幌で化石発見！大型化したカイギュウ、クジラの進化の謎を解く」(企画展関連事業)	5. 4. 22 (2 回)	古沢 仁 (センター学芸員)	23 人

(4) 企画展示

事業名	開催日	内容	参加者数
どこがちがうの？！たんぽぽ「つばい」植物展	5. 6. 17- 5. 9. 2	身近な植物たんぽぽとそれに似た植物の展示を通して分類学を紹介	1, 729 人
地球ノカケラ 岩石・鉱物展	5. 12. 2- 6. 2. 24	岩石・鉱物の多様性を紹介 北海道石の展示も実施	2, 802 人
博物館活動日誌' 23	6. 3. 23- 6. 5. 11	令和 5 年度の博物館活動センター活動内容・研究成果を紹介	1, 316 人

(5) PR イベント

事業名	開催日	内容	参加者数
カルチャーナイト 2023	5. 7. 21	夜間開放、バックヤードツアーを実施	62 人
小金湯産クジラ化石の復元骨格標本の展示	6. 1. 20- 6. 2. 14	小金湯産クジラ化石の復元骨格標本を立体的に初展示 【協力】日本生命保険相互会社札幌支社	-

(エ) 学校・他機関等との連携事業

事業名	開催日	内容	参加者数
デリバリー・ミュージアム	5. 6. 28 5. 7. 5	小学校で学芸員による札幌や学校周辺の自然について講義・実習を実施	2 校 164 人
道内 6 館合同展示「押し花の押し花～牧野富太郎と植物標本～」展	5. 7. 21～ 5. 10. 7	植物分野の学芸員がいる道内 6 館で連携した企画展示を実施	1, 521 人
吉田川公園 自然観察会	5. 9. 13	山崎学芸員が公園内の植物を解説しながら観察会を実施 【主催】月寒公園パークライフコンソーシアム	5 人
AOAO SAPPORO 連携企画「スタンプリング＆トークイベント」	5. 10. 5～ 5. 10. 31	AOAO SAPPORO 企画展の関連イベントとして実施。	100 人



企画展「どこがちがうの?! たんぽぽ『つばい』植物展」



小金湯産クジラ化石の復元骨格標本の展示

エ (仮称) 札幌自然史博物館整備推進事業

(仮称) 札幌博物館の整備については、平成 27 年度の中期実施計画「アクションプラン 2015」に整備に向けた諸計画を策定する「(仮称) 札幌博物館整備推進事業」が盛り込まれた。

本事業を推進するため、平成 27 年 3 月に策定された「(仮称) 札幌博物館基本計画」に基づき、平成 31 年 3 月に「(仮称) 札幌博物館展示・事業基本計画」を策定した。

その後は、持続可能な博物館の運営に向けて民間活力の導入手法や学芸系職員の採用方法など他の博物館に調査を継続的に実施し、整備に向けた検討を進めている。

14 学校開放（文化活動）

昭和 54 年度より、音楽（器楽、合唱、太鼓）、演劇、舞踊、囲碁、将棋、文学などの活動を行うアマチュアグループ、サークル、市民に練習の場を提供するため、学校施設を開放し、文化活動の促進を図っている。

(1) 開放概要

ア 開放時間	火～土曜日	18：00～21：00（3 時間）	
	日・祝祭日	10：30～12：30（2 時間）、13：00～17：00（4 時間）	
	月曜日	休み	
イ 利用料金	18：00～21：00（3 時間）	900 円	
	10：30～12：30（2 時間）	600 円	
	13：00～17：00（4 時間）	1, 200 円	

(2) 開放校（令和 6 年 3 月 31 日時点）及び令和 5 年度の利用状況

小学校名	所在地・開放教室数		利用状況（5 年度）		
			利用件数	延べ利用人数	利用率
二条小学校	中) 南 2 条西 15 丁目	1	27 件	81 人	26.0%
中央小学校	中) 大通東 6 丁目	1	2 件	6 人	50.0%
幌北小学校	北) 北 19 条西 2 丁目	1	0 件	0 人	0.0%
白楊小学校	北) 北 24 条西 7 丁目	1	36 件	232 人	61.0%
北光小学校	東) 北 12 条東 6 丁目	2	1 件	1 人	1.9%
元町小学校	東) 北 25 条東 17 丁目	1	85 件	846 人	48.2%
大谷地小学校	白) 本通 18 丁目南	1	7 件	113 人	4.0%
南白石小学校	白) 南郷通 2 丁目南	1	83 件	131 人	43.2%
ひばりが丘小学校	厚) 厚別中央 2 条 4 丁目	3	336 件	1,396 人	79.4%
中の島小学校	豊) 中の島 2 条 1 丁目	1	196 件	398 人	85.6%
平岸小学校	豊) 平岸 2 条 14 丁目	1	156 件	999 人	54.8%
清田小学校	清) 清田 1 条 4 丁目	1	0 件	0 人	0.0%
澄川西小学校	南) 澄川 2 条 5 丁目	1	1 件	6 人	0.7%
琴似小学校	西) 琴似 2 条 7 丁目	1	0 件	0 人	0.0%
発寒南小学校	西) 発寒 5 条 7 丁目	1	60 件	545 人	23.5%
手稲鉄北小学校	手) 前田 2 条 12 丁目	1	30 件	408 人	10.4%
合計（16 校 19 教室）			1,020 件	5,162 人	39.3%

15 名義後援

市内で開催される文化芸術行事を奨励するため、名義後援を行うほか、市長賞（賞状）を出賞している。

また、後援する事業のうち希望するものについては、事業名、日程、開催場所等を札幌文化芸術交流センター（SCARTS）に掲載し、広く周知を図っている（令和 5 年度までは大通情報ステーション（59 ページ）のホームページに掲載していたが、令和 6 年 3 月 31 日付廃止に伴い、当該機能を SCARTS に集約）。

年 度	申請件数	市長賞件数 (賞状延枚数)
令和 3 年度	845 件	42 枚
令和 4 年度	1,073 件	60 枚
令和 5 年度	1,156 件	52 枚

16 文化芸術振興活動への助成

本制度は、市民の国際文化交流活動を助成するため、昭和 53 年度に芸術文化振興基金を創設し、この果実を助成金として交付することで、市民主体の文化芸術活動を継続的に支援している。

昭和 59 年度に青少年の国内外の文化交流活動、平成 4 年度に新人育成を目的とした研修及び公演発表などの活動、平成 27 年度には、文化交流協定等締結都市・姉妹都市との交流活動を助成対象に加えた。また、平成 30 年度募集分から、近年の応募状況を鑑み、青少年文化交流活動助成分野を廃止の上で新人育成活動分野に統合した。令和 4 年度からは実施主体を市から札幌文化芸術交流センター SCARTS へ移し、新たな枠組みで実施している。

基金造成状況及び交付実績（昭和53年度～令和5年度）

（単位：千円）

年度	交付状況				基金造成状況				
	交付額	件数	積立額	同左財源			年度末残高		
				一般財源	寄付金	剰余金			
53	900	芸術文化 3（個人 1 団体 2）	31,441	20,000	10,000	1,441	31,441		
54	1,800	芸術文化 5（個人 2 団体 3）	3,207			3,207	34,648		
55	3,000	芸術文化 7（個人 3 団体 4）	41,600	26,000	14,000	1,600	76,248		
56	4,000	芸術文化 11（個人 5 団体 6）	31,322	20,000	10,000	1,322	107,570		
57	5,600	芸術文化 8（個人 0 団体 8）	1,770			1,770	109,340		
58	6,400	芸術文化 14（個人 4 団体 10）	4,225			4,225	113,565		
59	12,100	芸術文化 16（個人 5 団体 11） 青少年 11（個人 0 団体 11）	120,029	100,000	20,000	29	233,594		
60	14,350	芸術文化 20（個人 5 団体 15） 青少年 11（個人 0 団体 11）	21,560		20,000	1,560	255,154		
61	15,000	芸術文化 16（個人 4 団体 12） 青少年 15（個人 1 団体 14）	18,409		18,331	78	273,563		
62	11,260	芸術文化 17（個人 1 団体 16） 青少年 11（個人 0 団体 11）	4,770		3,597	1,173	278,333		
63	12,250	芸術文化 17（個人 1 団体 16） 青少年 16（個人 0 団体 16）	2,082		1,272	810	280,415		
元	12,960	芸術文化 17（個人 5 団体 12） 青少年 17（個人 0 団体 17）	33,105		30,750	2,355	313,520		
2	15,330	芸術文化 20（個人 3 団体 17） 青少年 15（個人 0 団体 15）	41,486		32,209	9,277	355,006		
3	21,130	芸術文化 19（個人 0 団体 19） 青少年 18（個人 0 団体 18）	104,730	60,000	40,882	3,848	459,736		
4	21,115	芸術文化振興 5（個人 1 団体 4） 国際文化 25（個人 2 団体 23） 青少年 13（個人 0 団体 13）	136,566	100,000	36,566		596,302		
5	18,840	芸術文化振興 6（個人 1 団体 5） 国際文化 24（個人 1 団体 23） 青少年 12（個人 0 団体 12）	11,371		8,805	2,566	607,673		
6	17,137	芸術文化振興 7（個人 1 団体 6） 国際文化 23（個人 0 団体 23） 青少年 10（個人 0 団体 10）	▲ 139		PMF取崩し ▲ 1,225	1,086	607,534		
7	18,081	芸術文化振興 10（個人 0 団体 10） 国際文化 27（個人 2 団体 25） 青少年 8（個人 0 団体 8）	15,855		15,855		623,389		
8	11,259	芸術文化振興 10（個人 1 団体 9） 国際文化 26（個人 2 団体 24） 青少年 10（個人 0 団体 10）	4,708		4,708		628,097		
9	10,582	芸術文化振興 13（個人 3 団体 10） 国際文化 21（個人 1 団体 20） 青少年 10（個人 0 団体 10）	▲ 162		コンサートホール取崩し ▲ 162		627,935		
10	9,182	芸術文化振興 9（個人 1 団体 8） 国際文化 15（個人 0 団体 15） 青少年 10（個人 0 団体 10）	5,322		4,301	1,021	633,257		
11	7,745	芸術文化振興 11（個人 0 団体 11） 国際文化 16（個人 1 団体 15） 青少年 7（個人 0 団体 7）	12,177		10,397	1,780	645,434		
12	7,851	芸術文化振興 13（個人 3 団体 10） 国際文化 13（個人 1 団体 12） 青少年 7（個人 0 団体 7）	1,978		500	1,478	647,412		
13	8,109	芸術文化振興 9（個人 1 団体 8） 国際文化 12（個人 1 団体 11） 青少年 8（個人 0 団体 8）	1,139		350	789	648,551		
14	7,157	芸術文化振興 10（個人 2 団体 8） 国際文化 7（個人 1 団体 6） 青少年 7（個人 0 団体 7）	▲ 101,050		PMF取崩し ▲ 101,050		547,501		
15	6,948	芸術文化振興 14（個人 4 団体 10） 国際文化 8（個人 1 団体 7） 青少年 4（個人 0 団体 4）	▲ 14,750		PMF取崩し ▲ 14,750		532,751		
16	6,834	芸術文化振興 12（個人 2 団体 10） 国際文化 8（個人 3 団体 5） 青少年 6（個人 0 団体 6）	▲ 16,620		PMF取崩し ▲ 19,520	2,900	516,131		
17	6,854	芸術文化振興 16（個人 2 団体 14） 国際文化 11（個人 3 団体 8） 青少年 3（個人 0 団体 3）	▲ 18,447		PMF取崩し ▲ 18,621	174	497,684		
18	6,521	芸術文化振興 10（個人 1 団体 9） 国際文化 6（個人 4 団体 2） 青少年 4（個人 0 団体 4）	▲ 23,711		PMF取崩し ▲ 24,650	939	473,973		
19	5,423	芸術文化振興 16（個人 4 団体 12） 国際文化 7（個人 3 団体 4） 青少年 2（個人 0 団体 2）	▲ 14,325		PMF取崩し ▲ 15,900	1,575	459,648		
20	6,290	芸術文化振興 10（個人 0 団体 10） 国際文化 6（個人 1 団体 5） 青少年 3（個人 0 団体 3）	▲ 12,865		PMF取崩し ▲ 12,850 その他 ▲ 600	585	446,783		
21	6,161	芸術文化振興 15（個人 2 団体 13） 国際文化 12（個人 4 団体 8） 青少年 3（個人 0 団体 3）	▲ 8,690		PMF取崩し ▲ 9,950 その他 10	1,250	438,093		
22	6,524	芸術文化振興 16（個人 2 団体 14） 国際文化 7（個人 2 団体 5） 青少年 1（個人 0 団体 1）	▲ 9,328		PMF取崩し ▲ 9,194	▲ 134	428,765		
23	3,967	芸術文化振興 7（個人 1 団体 6） 国際文化 7（個人 4 団体 3） 青少年 1（個人 0 団体 1）	▲ 9,959		PMF取崩し ▲ 12,200	2,241	418,806		
24	6,482	芸術文化振興 9（個人 2 団体 7） 国際文化 10（個人 3 団体 7） 青少年 1（個人 0 団体 1）	▲ 16,050		PMF取崩し ▲ 16,050	0	402,756		
25	4,829	芸術文化振興 10（個人 1 団体 9） 国際文化 11（個人 3 団体 8） 青少年 2（個人 0 団体 2）	▲ 8,720		PMF取崩し ▲ 9,547	827	394,036		
26	5,472	芸術文化振興 8（個人 1 団体 7） 国際文化 10（個人 1 団体 9） 青少年 0（個人 0 団体 0）	▲ 2,103		PMF取崩し ▲ 2,107	4	391,933		
27	3,841	新人育成 10（個人 0 団体 10） 交流協定・姉妹都市 8（個人 5 団体 3） 国際文化 6（個人 0 団体 6） 青少年 1（個人 0 団体 1）	▲ 3,766		PMF取崩し ▲ 5,403	1,637	388,167		
28	4,520	新人育成 14（個人 2 団体 12） 交流協定・姉妹都市 3（個人 1 団体 2） 国際文化 3（個人 0 団体 3） 青少年 1（個人 0 団体 1）	▲ 10,587		PMF取崩し ▲ 10,952	365	377,580		
29	4,076	新人育成 11（個人 4 団体 7） 交流協定・姉妹都市 1（個人 0 団体 1） 国際文化 5（個人 1 団体 4） 青少年 0（個人 0 団体 0）	67,429		67,281	148	445,009		
30	2,800	新人育成 10（個人 3 団体 7） 交流協定・姉妹都市 5（個人 1 団体 4） 国際文化 8（個人 0 団体 8）	▲ 15,301		▲ 16,386	1,085	429,708		
元	3,851	新人育成 11（個人 4 団体 7） 交流協定・姉妹都市 1（個人 0 団体 1） 国際文化 5（個人 2 団体 3）	23,328		23,328	0	453,036		
2	1,273	新人育成 8（個人 5 団体 3） 交流協定・姉妹都市 0（個人 0 団体 0） 国際文化 1（個人 0 団体 1）	173,330		170,772	2,558	626,366		
3	2,402	新人育成 9（個人 3 団体 6） 交流協定・姉妹都市 0（個人 0 団体 0） 国際文化 2（個人 1 団体 1）	78,970		76,122	2,848	705,336		
4	4,724	特別助成事業 2（個人 0 団体 2） 一般助成事業 14（個人 4 団体 10）	130,051		129,406	645	835,387		
5	5,470	特別助成事業 1（個人 0 団体 1） 一般助成事業 19（個人 4 団体 15）	14,742		13,616	1,126	850,129		
計	378,400	※R4からSCARTSに移管	850,129	326,000	462,531	62,188			

17 創造都市ネットワーク

文化芸術などに代表される創造性を生かした産業振興やまちづくりを進め、人材育成・集積を図ることで、まちを活性化し、都市ブランド向上にもつなげる「創造都市さっぽろ」の取組推進を目的に、国内外の創造都市とのネットワーク構築や啓発イベントの実施を進めている。

<ユネスコ創造都市ネットワーク (UNESCO Creative Cities Network) >

平成 16 年に、創造的・文化的な産業の育成等により都市の持続可能な発展を目指す世界の都市が、国際的な連携・相互交流を行うことを支援し、文化多様性への理解の増進を図るため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が設置した枠組み。

札幌市は、平成 25 年 11 月に、文学、映画、音楽、工芸、デザイン、メディアアーツ、食文化の 7 つの登録分野のうち、デジタル技術などを用いた新しい文化的発展やクリエイティブ産業の振興を目指す「メディアアーツ都市」として加盟した。

ネットワークは令和 5 年 10 月に 55 都市を新たに迎え、世界の 350 都市が加盟しており、札幌市は主に同じメディアアーツ都市との交流・連携事業を実施している。

<創造都市ネットワーク日本 (Creative Cities Network Japan) >

創造都市の取組を推進する（又は推進しようとする）地方自治体等多様な主体を支援するとともに、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして、わが国における創造都市の普及・発展を図ることを目的に、平成 25 年 1 月に設立された。

ネットワークには令和 6 年 4 月現在、127 自治体及び 43 団体が加盟している。札幌市は設立当初から幹事団体として参加し、セミナー・ワークショップ・部会等の運営に携わってきた。

<令和 5 年度の主な事業>

(1) 人材育成事業

事業内容	開催期間	会場
①CG モデル制作ワークショップ及びコミュニティ形成イベント（全 2 回）	①R5. 8. 5-6	① SAPPORO Incubation Hub DRIVE
②ワークショップ成果物の放映	②R6. 2. 1-29	② さっぽろ地下街オーロラタウン内 大型ビジョン「AUMIRU」ほか

(2) 市内での啓発イベント

事業内容	開催期間	会場	入場者数
メディアアーツ都市札幌×No Maps プロジェクト			
①AR アート・ストリート	①R5. 9. 13-19	①北 1 条公共地下歩道	①276 人
②ローカルクリエイターズエキシビション	②R6. 2. 23-24	②D-LIFE PARK	②3, 294 人
③COUGEN プロジェクト『準電化 directionS』	③R6. 3. 2	③創成川公園狸二条広場	③150 人
メディアアーツ展「Sapporo Parallel Museum」	R6. 2. 3-11	市内 6 会場	約 60, 000 人

(3) 創造都市ネットワーク連携事業

事業内容	事業期間	連携先
都市間連携事業「Mini Sound Map」への参加	R5. 4-6	ポルトガル・ブラガ市
都市間連携事業「未来のメディアアーツ都市」プロジェクトの実施（主催）	R5. 4-11	メディアアーツ分野に加盟する 17 都市
都市間連携事業「未来のメディアアーツ都市」プロジェクトの成果展示	R6. 2. 3-11	同上